

授業概要

臨床心理学は、心理的に問題を抱えている人を援助するために必要な知識の一つです。代表的な心理療法の理論や心理テストの種類と方法、心理治療の一般的な流れなどを紹介した後で、臨床心理学が役に立つと考えられる代表的な心理的問題や精神的な疾病を学習してもらいます。

当然のことですが、臨床心理学は万能ではありません。むしろ困っている人の役に立てないことも多々あります。授業では、臨床心理学のできることと限界も紹介します。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（授業の進め方、成績の評価方法など）
第 2 回	臨床心理学とは何か
第 3 回	心理的問題の分類
第 4 回	臨床心理学的なアセスメントの種類と方法
第 5 回	心理的問題に対するアプローチ方法（1）
第 6 回	心理的問題に対するアプローチ方法（2）
第 7 回	心理的問題に対するアプローチ方法（3）
第 8 回	中間レポートの提出
第 9 回	心理療法の開始から終了までの一般的なプロセス
第 10 回	心理療法を行う上で必要な基本的な知識と態度
第 11 回	臨床心理士などの心理療法を使用する職業に就くことを目指す人に必要なこと
第 12 回	臨床心理学の関連領域
第 13 回	臨床心理学がターゲットにする代表的な疾病（1）
第 14 回	臨床心理学がターゲットにする代表的な疾病（2）
第 15 回	臨床心理学がターゲットにする代表的な疾病（3）
第 16 回	最終レポートの提出

到達目標

臨床心理学の基礎的な知識を学習します。

履修上の注意

授業内で2人組や3人組などのグループを作るように指示することがあります。

予習復習

15回の講義でできることは、臨床心理学の学習方法の方向づけがメインです。したがってこの授業を履修しただけでは臨床心理学の表面的な部分しか知ることはできません。授業内でより理解を深めるための書籍や学習方法を提示しますので、各自で発展的な学習を行うことを希望します。

評価方法

平常点（受講態度、提出物等の約束事の遵守の程度）が3割、レポート（中間レポート、最終レポート）が7割です。第1回の授業で、評価方法の詳細を説明します。

テキスト

資料を配布しますので、特定のテキストは必要ありません。参考図書は随時紹介します。